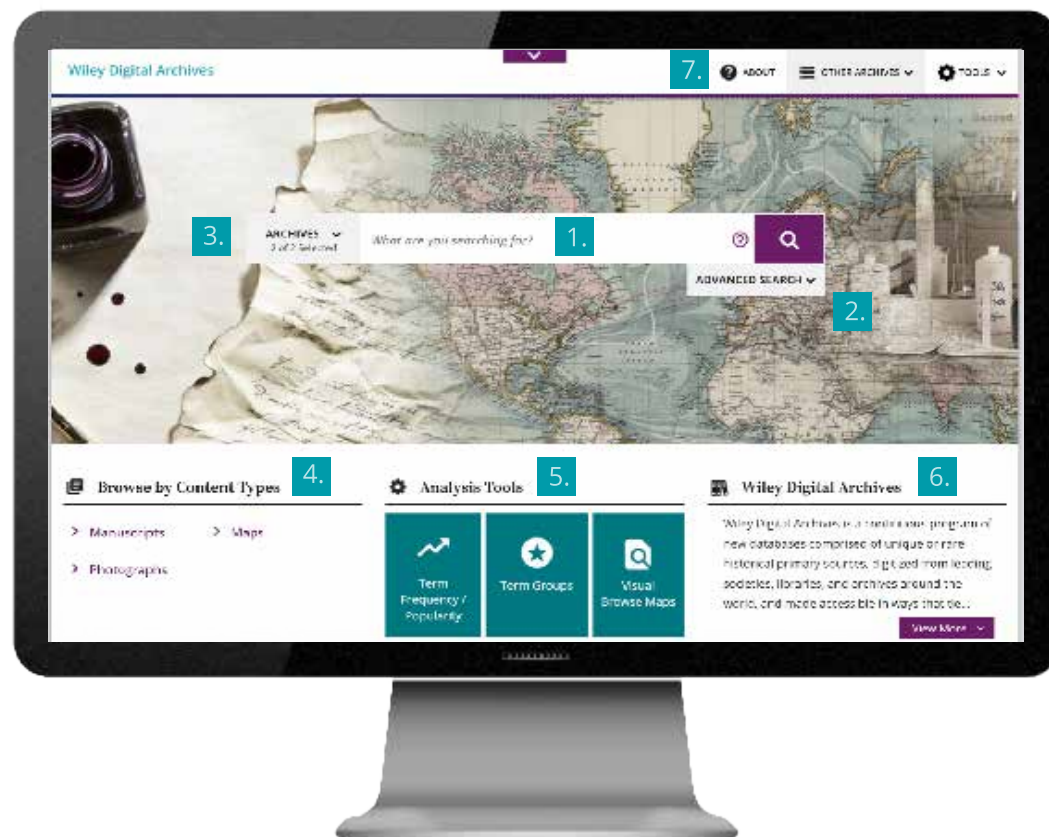


Wiley Digital Archives

クイック  
ユーザーガイド



**ホームページ:** Wiley Digital Archives の利用はここからスタートします



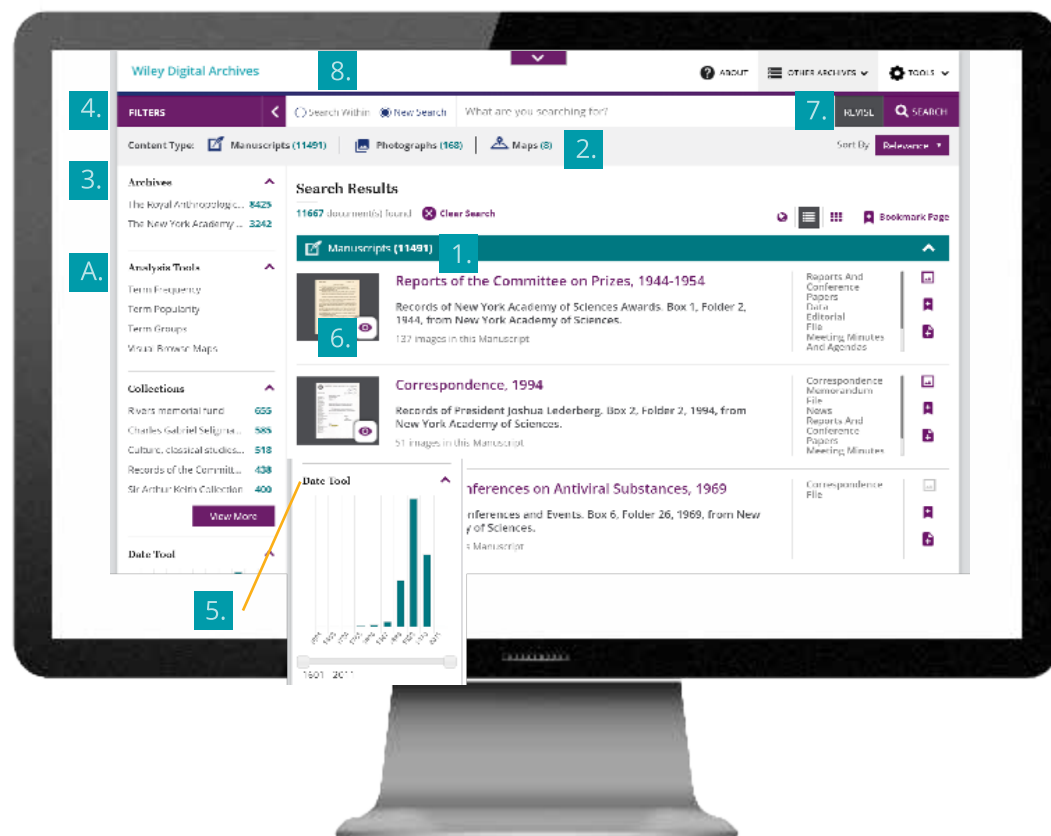
1. 目立つ場所に置かれているのが検索バーです。これを使って、ホームページから直接検索を実行できます。
2. より複雑な条件で検索するには、アドバンストサーチ (Advanced Search) を使います。
3. ご所属機関で複数のアーカイブを契約している場合、初期状態ではそれらのアーカイブを横断的に検索します。特定のアーカイブを一つまたは複数選んで、限定的に検索することもできます。
4. 資料の種類別に、一覧表示することができます。資料の種類には、Monographs (単行本)、Manuscripts (手書き原稿)、Periodicals (逐次刊行物)、Maps (地図)、Photographs (写真) などがあります。
5. 資料の探索を支援する分析ツールとして、検索語の出現頻度のグラフ化、検索語と同じ文献に出現する関連語の表示、資料の出版地を地図上に視覚化するなどの機能を備えています。(後述)
6. アーカイブの概要が簡潔に記述されています。
7. 各アーカイブから資料を発見するための手がかりとなる情報が "About" にあります。実際のアーカイブで紙の資料を探索するときと同じように、資料を保存しているボックスやフォルダーのタイトルや参照番号から、そこに収録されている資料を一覧表示できます。元々探していた資料と関連する資料が思いがけず見つかるかもしれません。

**アドバンストサーチ:** 複雑な検索をホームページから直接実行します



1. キーワード、主題、著者名、タイトルなどで検索します。ブール演算子(AND, OR, NOT)を使って複数の条件の掛け合わせが可能です。
2. フィールドセクターを使って、検索語が出現する場所を限定できます。検索行が不足したら、+ボタンをクリックして追加します。
3. 検索ボタンをクリックしなくても、検索語の入力や条件の変更に連動して、予想ヒット件数が表示されます。検索条件を広げたり絞ったりといった調整がしやすくなり、無駄な検索を減らせます。
4. Quick Limiters は、資料の種類、サブタイプ、出版時期、言語、資料の出所などによって検索対象を限定するのに使えます。
5. Date（出版日）は特定の日、任意の期間、ある日付の前または後といったように自由に検索条件を設定できます。Undated（出版日情報をもたない資料）を検索に含めるかどうかも選択可能です。
6. リセットボタンをクリックすると、それまでの検索条件を消去して、最初から検索し直すことができます。

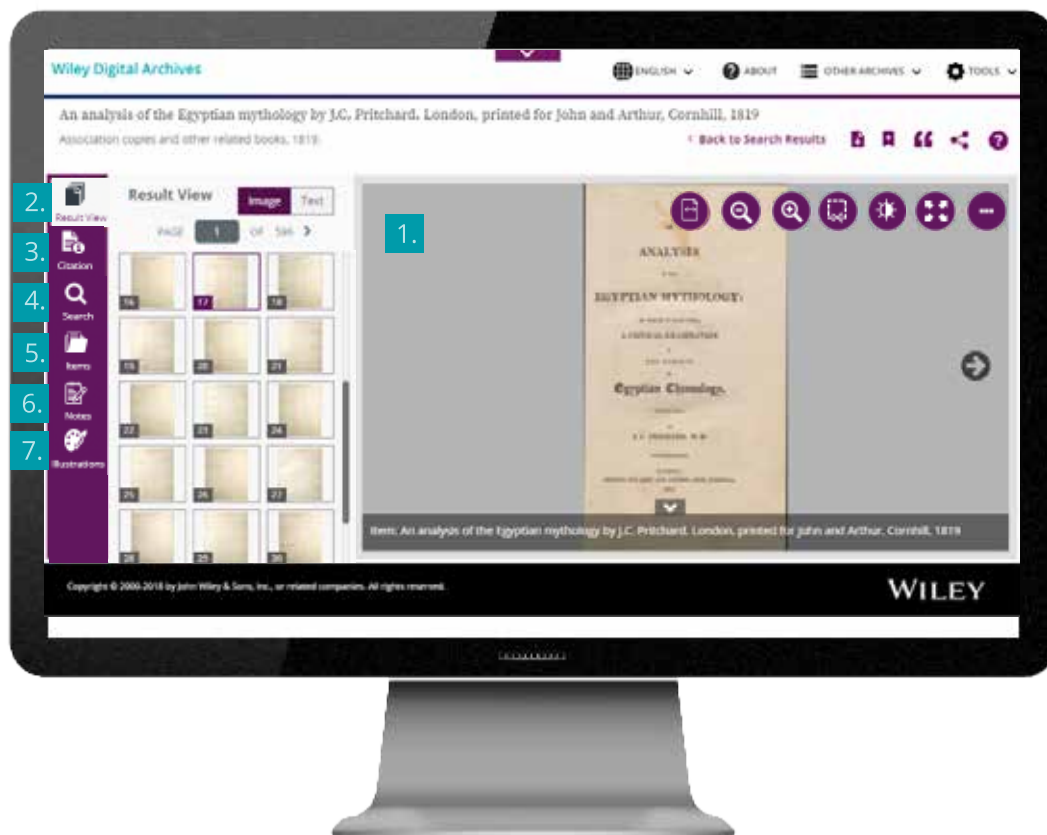
**検索結果:** 検索やブラウズ（一覧表示）の結果を操作したり、フィルターで絞り込んだりする機能があります。



1. 検索結果は資料の種類別にまとめられます。それぞれ、ヒットした資料の件数が明確に示されます。
  2. Content typeメニューで、特定の種類の資料に表示を絞り込みます。
  3. 画面左のQuick Limitersで、アーカイブ（複数のアーカイブを横断検索した場合）、コレクション、出版時期、言語、資料の出所などの条件で検索結果を絞り込むことができます。
  4. 画面が狭いと感じるときは、Quick Limitersを非表示にできます。
  5. Date toolを使うと、ある年代に出版された資料の数を見ることができ、また任意の期間に出版された資料を絞り込みます。
  6. 目のアイコンをクリックすると“Peek”（チラ見）機能を利用して、各資料のページ画像をプレビューできます。
  7. 期待した検索結果が得られなかった場合は、画面右上のReviseボタンをクリックして検索条件を変更します。適用したLimiterを外したいときは、Limitersとして表示されている横のXをクリックすると、直ちに変更が反映されます。
  8. 現在の検索条件にさらに検索語を追加することも、最初から検索をやり直すことも可能です。
- A. Analysis Tools（分析ツール）

## 資料の閲覧 -- ナビゲーション

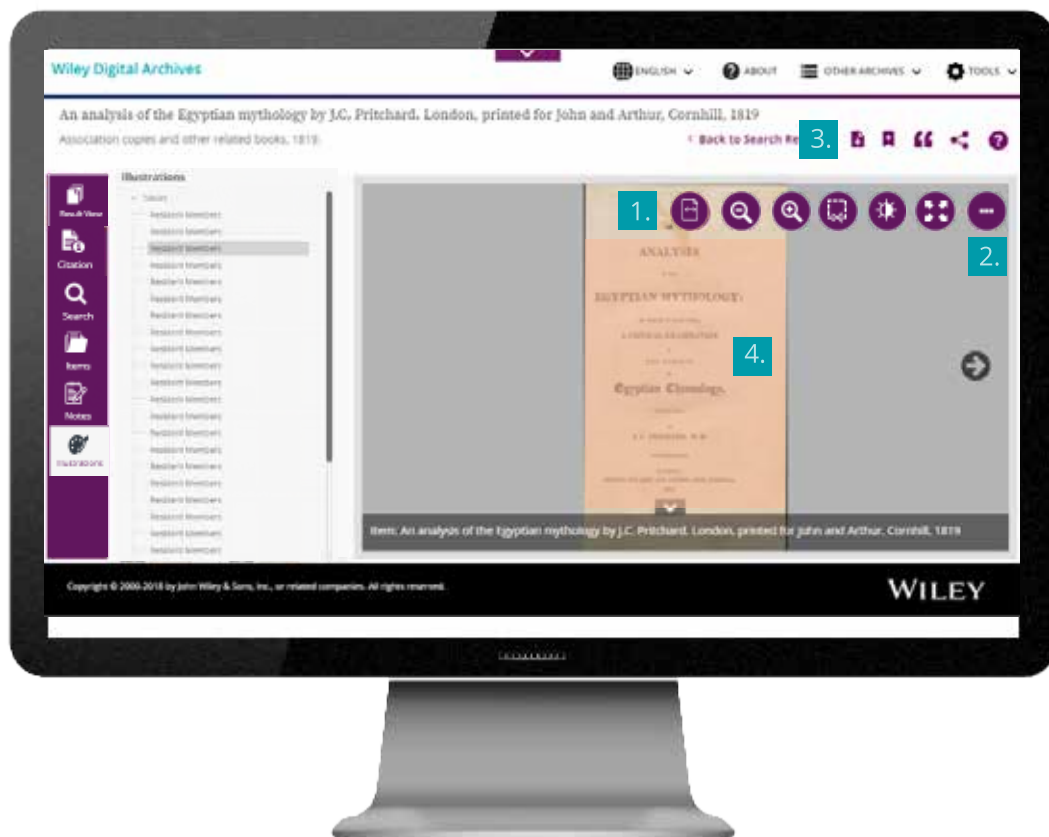
資料ページのスキャン画像を表示するのがImage viewer です



1. Image viewer の左側のタブで、表示する情報を切り替えます。
2. Result View は資料の各ページを表示します。ここから読みたいページを探したり、矢印ボタンで前後のページに移動したり、ページNo.を入力してそのページにジャンプすることができます。Textボタンをクリックすると、OCR（光学的文字認識）で読み取られたテキストが表示されます。このテキストはコピーやダウンロードも可能です。
3. Citation タブでは、資料の書誌情報を見ることができます。
4. Search タブでは、現在見ている資料に含まれる特定の語を検索します。検索語が含まれるページが表示され、直接参照できます。
5. Items タブは、資料内のコンテンツに対する簡単な索引です。Monograph（単行本）の場合は目次が、またManuscripts（手書き原稿）の場合は by type（資料の種別）と by sequence（収録順）の2通りで資料の収録内容が表示されます。
6. Notesタブは、アーカイブを所蔵する学協会から提供された、資料についての注釈を示します。
7. 画家のパレットのアイコンで示される Illustrations タブは、資料に含まれる挿絵や図表を抜粋して一覧表示します。その中に見たいものがあればクリックして下さい。

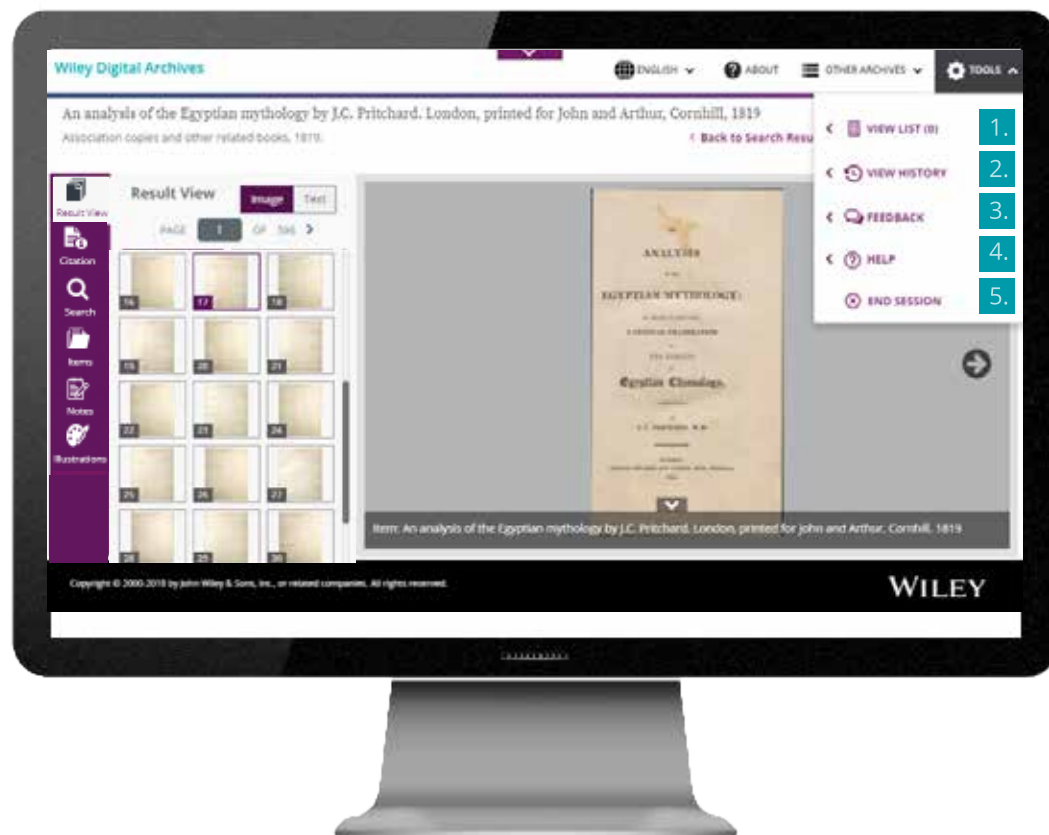
## 資料の閲覧 - フローティング・ツールバー

Image viewerには、資料の閲覧を助ける各種ツールが備わっています。



1. Image viewerのページ画像の上でマウスカーソルを動かすと上部に表示される一連のアイコンがフローティング・ツールバーです。各アイコンには特定の機能が割り当てられ、画像の拡大・縮小、印刷とダウンロード（全ページまたは特定のページ）、コントラストや明るさの調節とネガポジ反転、全画面表示などが可能です。
2. 右端のアイコンをクリックすると、それまで隠れていたアイコンが追加で表示されます。画像に名前を付けて保存、画像ウィンドウの幅または高さにフィット、画像の左右回転とリセットが可能です。
3. ページ画像のすぐ上にあるアイコンは、便利な追加機能を提供します。
  - 資料をリストに追加（現在のセッション内のみ有効。セッションを終了するとリストは消去されます）
  - Citation toolsは資料の書誌情報を出力し、自分の論文等への引用を容易にします。ALA, MLA, CMSの3種類のフォーマットが選べ、また分権管理ソフトへの出力も可能です。
  - 資料についてメールやSNSで他のユーザーに発信できます。"Share with External Users"の項目にあるリンクを使うと、Wiley Digital Archivesへのアクセス権を持たない（ご自分の所属機関外の）ユーザーでも、その資料を限定つきで閲覧できます。
  - ?マークのアイコンをクリックすると、Image viewerの利用のヒントを知ることができます。
4. 資料中の表は、1ステップでExcelに出力できます。

**各種ツール:** 直感的に利用可能なインターフェースには、検索を支援する便利なツールが備えられています。



1. View list では、現在のセッション内に保存した資料を一覧できます。リスト中の資料を見直したり、削除したりできるほか、資料の書誌情報やリンクを含むリストを出力することもできます。Web上のリストはセッションの終了時に消去されますので、その後もリストを利用したい場合は、セッションの終了前に出力して保存しておいて下さい。
2. View history には、現在のセッション内に実行した検索の履歴が保存されていて、簡単に再検索を行えます。
3. Feedback からは、**Wiley Digital Archives** のプロダクトマネージャーに対してコメントを直接送信できます。Wileyでは、皆さまからのあらゆるフィードバックを歓迎します。
4. Help は、**Wiley Digital Archives** の利用ガイドやトレーニング動画を提供するサイト Training Hub にリンクしています。
5. End the session をクリックすると、**Wiley Digital Archives** からログアウトします。セッション中にリストに保存した資料や検索履歴の情報は消去されます。

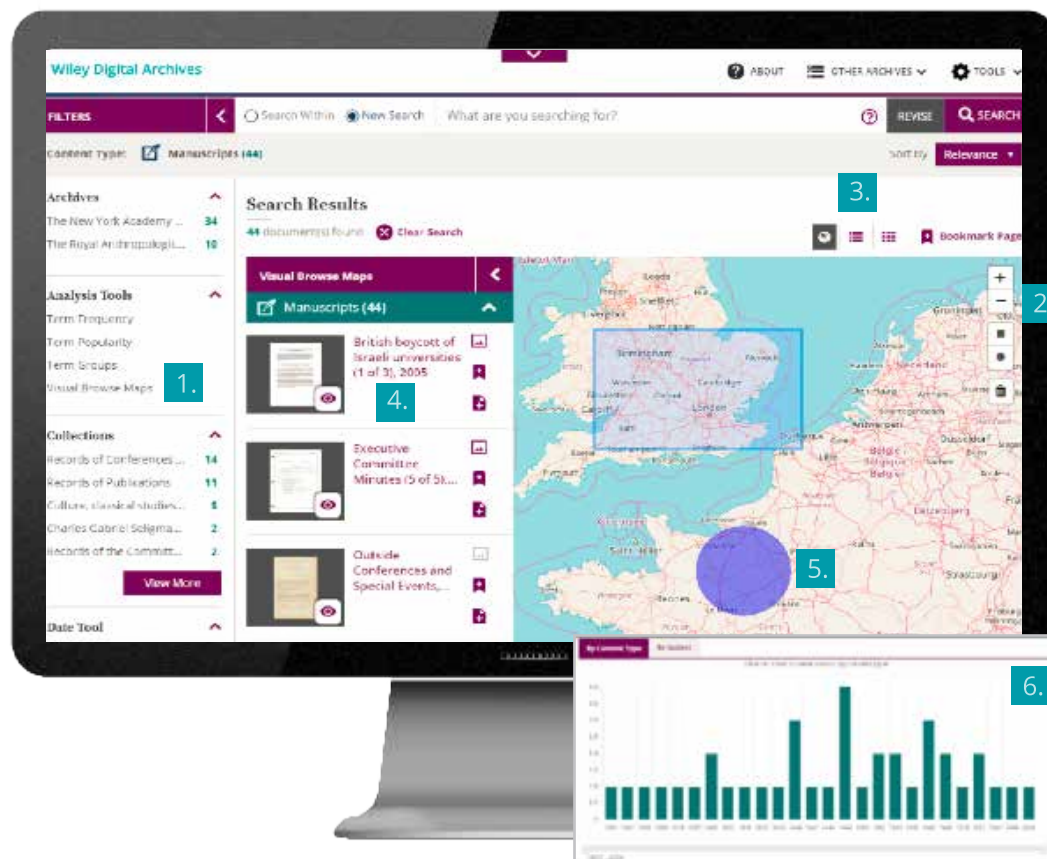
**分析ツール:** ホームページや検索結果のページ上の分析ツールは、必要とする資料へのすばやいアクセスを支援します。



1. Term Frequency/Popularity - ある単語の、出版年ごとの frequency や popularity (後述) をグラフ表示できます。
  - 複数の単語についてのグラフを同時に表示できます。
  - グラフの線上の丸印 (マーカー) にカーソルを合わせると、その年で条件に当てはまる資料数が分かり、またクリックすると該当する資料を表示できます。
  - グラフの下のスライダーを左右に動かすと、対象とする年範囲を変えられます。
2. Term Frequency - 出版年ごとの、その単語を含む資料数
3. Term Popularity - そのような資料が、同じ年の資料全体の中で占める割合
4. Term Groups - ユーザーが指定した検索語と同じ資料中に出現する頻度の高い関連語が分かります。
  - クリックすると該当する文献を表示します
  - 同じ結果に対して2種類の表示方法を選べます (後述)
5. Foam tree - 出現頻度の高い関連語ほど中心近くに表示されます。
6. Circles - 出現頻度の高い関連語ほど赤色の部分の近くに表示されます。
7. Place of Publication Browser - 次ページをご覧ください。



**分析ツール: Place of Publication Browser**は、各資料の出版地を世界地図上に視覚的に表示するユニークな分析ツールです。



1. Place of Publication Browser には、アーカイブのトップページまたは検索結果ページのAnalysis Hubからアクセスできます。Analysis Hub中に表示されていないときは、View Moreをクリックして下さい。
2. 地図の右上に表示されるツールを使って操作します。
  - + / - ボタンでズームイン / ズームアウト
  - 地図を動かすにはマウスでドラッグします
  - 四角・丸のボタンをクリックすると、地図上に長方形または円を描いて、その範囲内を出版地とする資料を抽出できます
3. 地図の上にあるアイコンで画面表示を切り替えられます。
  - 初期状態では地球儀のアイコンがONになっていて、地図とヒットした資料の一覧が並べて表示されます。地球儀のアイコンをクリックしてOFFにすると、資料の一覧だけが表示されます。
  - その右の2つのアイコンで、資料の一覧の表示をリスト形式またはグリッド（格子）形式に切り替えます。
4. 資料の一覧は地図の操作に連動してアップデートされます。表示される資料は、出版地に基づいて選ばれます。
5. 地図上の青い点は地域を示すもので、クリックできません。
6. 地図の下にあるグラフは、ヒットした資料の数を資料の種類、主題と出版年ごとに示します。スライダーを左右に動かすと対象とする年範囲を変えられます。グラフ上にカーソルを合わせると、該当年で条件に当てはまる資料数が分かり、またクリックすると該当する資料を表示できます。

**アーカイブについて:**それぞれのアーカイブの全般的な情報を見たり、アーカイブ中の個別のコレクションを順に参照できます。

1. アーカイブとそれを所蔵する学協会について、歴史・目的・資料の性格などを知ることができます。
2. アーカイブ中の各コレクションを順を追って参照できます。
3. コレクションの内容についての説明や、アーカイブ内での登録番号などを見ることができます。
4. アーカイブ内の別のコレクションにジャンプするためのメニューです。
5. 紙で保存されているアーカイブを探索するのと同じ感覚で、めざす資料を探せます。

